

平成23年度 第22回 関東高等学校バスケットボール新人大会

【男子】 <2回戦>

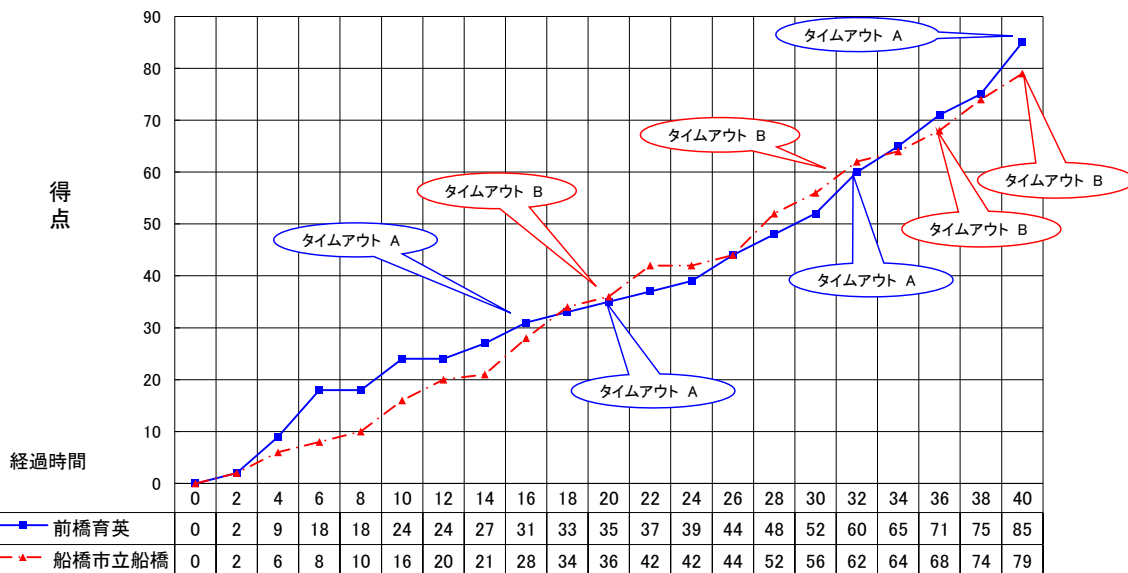
平成24年 2月11日(土)	ひたちなか市総合運動公園総合体育館	大会1日目	Aコート	第5試合 15:00~
<チームA> 前橋育英 群馬		85 { 24 1Q 16 } { 11 2Q 20 } { 17 3Q 20 } { 33 4Q 23 }		<チームB> 船橋市立船橋 千葉
主審: 谷古宇 孝(東)		副審: 北島 寛臣(埼)		

S	No	選手名	得点	3P	2P	FT	Foul
◎	4	古賀 雷	28	3	9	1	3
◎	5	前田 英典	25	7	2		1
◎	6	芹川 拓人	10		4	2	2
◎	7	渡邊 健太	4		2		5
	8	館野 拓也					
◎	9	樋口 愛稀	12		3	6	2
	10	桑原 錦					
	11	佐藤 正太郎					
	12	金子 浩樹					
○	13	水尻 比呂	6		3		2
	14	田口 雅治					
	15	熊谷 大聖					
	16	久世 健人					
	17	唐澤 知将					
	18	渡辺 航					
コーチ		安西 智和					
合計			85	10	23	9	15

S	No	選手名	得点	3P	2P	FT	Foul
◎	4	田代 将也	11		5	1	2
◎	5	山本 大貴	21	1	8	2	
◎	6	中川 拓海	1			1	3
○	7	脇黒丸 和輝	2		1		1
○	8	内山 泰杜					2
	9	稲垣 佑樹					
	10	後藤 侑樹					
	11	大藤 哲太					
	12	濱田 将					
○	13	山崎 豊					1
◎	14	山本 健太	20	1	8	1	3
◎	15	高澤 淳	12		6		
○	16	阿部 諒	12	1	4	1	2
	17	佐々木 弘太					
	18	川口 大地					
コーチ		近藤 義行					
合計			79	3	32	6	14

◎:スターター / ○:出場 / 3P:3点シュート(本数) / 2P:2点シュート(本数) / FT:フリースロー(本数) / Foul:パーソナルファウル

得点の推移 (2分毎)



戦評

記入者: 宮河 猛

第1P、両チームともにディフェンスはハーフコートマンツーマンで試合開始。お互い激しいディフェンスの中、育英は④古賀のドライブインを中心に得点を重ねていく。一方、船橋は⑮高澤の外角からのシュートで応戦する。育英に良いスタートを切られた船橋は点数差が10点になったところでディフェンスを3-2ゾーンディフェンスに変え挽回。24-16、育英リードで終了。

第2P、船橋は高い位置からのゾーンディフェンスに変更。その船橋は⑤山本(大)、⑭山本(健)のポストプレイなどで得点を積み重ねていく。一方、育英は船橋のディフェンスを攻めあぐね、開始から3分以上シュートが決まらない。育英は残り5分を切ったところでタイムアウトを請求。その後、④古賀のドライブインなどで攻撃するも、逆転を許し36-35で船橋の1点リードで前半終了。

第3P、育英はハーフコートマンツーマン、船橋は2-3ゾーンディフェンスで後半スタート。育英は序盤、相手のゾーンディフェンスを攻めきれない。試合のスピードを変えようと、育英はディフェンスをオールコートマンツーマンに変え、速い展開に持ち込む。一方、船橋のオフenseはファーストシュートを落とすも⑭山本(健)がリバウンドを頑張り、得点を積み重ねていく。一進一退の攻防が続き、56-52、船橋がリードして最終ピリオドへ。

第4P、両チームともにディフェンスの変更はなし。育英は激しいディフェンスから④古賀、⑤前田の3pで点数差を縮め、逆転に成功する。一方、船橋は④田代のジャンプシュートなどで応戦し、緊迫した展開が続く。試合時間、残り2分から育英は⑬水尻の得点、⑤前田の3pと連続で決める。6点差となったところで船橋はタイムアウト請求。タイムアウト後、船橋は⑭山本(健)の3p、⑮高澤のジャンプシュートと決め返し、育英タイムアウト。残り3秒、3点差(82-79)、船橋は同点を狙い⑮高澤が3pを打つも外れ、逆にリバウンドをとった育英⑤前田がドリブルで運びセンターラインを越えたところでシュート。プザーピーターが決まり、85-79で育英が接戦をものにした。